

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年07月13日

計画の名称	災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）（重点計画）													
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	尾張旭市													
計画の目標	雨水排水施設が整備され、浸水被害等が起こりにくい、雨に強いまちづくりを進める。 市内の指定避難所にマンホールトイレを設置し、災害時においてもトイレが使用できる環境を整備する。													
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		238	A	238	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		（H30当初）	（R2末）	（R4末）
1	北原山地区の区画整理に併せ、雨水幹線、雨水管渠を整備することにより、同地区の浸水対策実施率を68%（H29末）から92%（R4）に増加させる。			
	北原山地区の浸水対策実施率 （浸水対策実施済区域面積（ha））÷（浸水対策を実施すべき区域面積（ha））×100	68%	83%	92%
2	災害時の指定避難所において、マンホールトイレの整備率を20%（H29 末）から100%（R4）に増加させる。			
	マンホールトイレの整備率 （マンホールトイレ設置済み基数）÷（マンホールトイレ計画設置基数）×100	20%	70%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	管渠（ 雨水）	新設	北原山地区（浸水対策）	雨水管 φ700～□3,600×2,500 L=1,142.8m	尾張旭市	■	■	■	■	■	190		-	
	A07-002	下水道	一般	尾張旭市	直接	尾張旭市	管渠（ 汚水）	新設	マンホールトイレ設置業 務	マンホールトイレの整備	尾張旭市	■	■	■	■	■	48		-	
		総合地震																		
											小計							238		
											合計							238		

事後評価	
○ 事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 尾張旭市下水道課にて評価を実施	事後評価の実施時期 令和5年5月
	公表の方法 事後評価後、ホームページにて公表する。
○ 事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	北原山地区の区画整理事業に合わせて雨水幹線、雨水管渠の整備を行い、同地区の浸水対策を進めた。 市内の指定避難場所にマンホールトイレを設置し、災害時においてもトイレが使用できる環境の整備を進めた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○ 特記事項（今後の方針等）	
引き続き雨水排水施設の整備を進め、浸水被害等が起こりにくい、雨に強いまちづくりを進める。	

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	北原山地区の浸水対策実施率		
	最 終 目標値	92%	区画整理事業に合わせ、雨水幹線、雨水管渠の整備を行っているが、区画整理事業に遅延が生じたため。
	最 終 実績値	90%	
2	マンホールトイレの整備率		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	